

(3) 第14回 先端加速器科学推進シンポジウム

日 時：平成24年12月15日

場 所：秋葉原UDX Theater

共 催：高エネルギー加速器研究機構、

ILC国際共同設計チーム、ILC物理測定器研究組織

テーマ：国際リニアコライダー設計報告書 完成発表会

参加者：150名

概 要：

12月15日(土)、東京・秋葉原UDXシアターで「国際リニアコライダー設計報告書完成発表会」を開催しました。本イベントは、高エネルギー加速器研究機構(KEK)、国際共同設計チーム(GDE)、物理測定器研究組織(RD)と先端加速器科学技術推進協議会(AAA)の主催で実施されました。

今回の発表会では、GDEとRDの上位機関にあたる「ILC運営委員会(ILCSC)」のジョナサン・バガー議長へと、GDE、RDそれぞれのディレクターであるバリー・バリッシュ氏、山田作衛氏からILC設計報告書(TDR/DBD)の最終ドラフトが手渡されました。このドラフト提出は、ILC建設に必要とされる技術がILCの建設を政府に対して提案できるレベルに達したことを示すものです。TDRを受け取ったバガー氏は「ILCSCを代表して、この報告書を受け取ります。最終レポートを目にする日を心待ちにしています。ヒッグス粒子らしき新粒子が見つかった今、私たち研究者は、明日にでも建設が始められると良いと思っています」と、ILCの早期実現への期待を述べました。

会の後半は、カブリ数物連携宇宙研究機構の村山斉機構長が座長を務め、パネルディスカッションが行われました。パネリストは、提出式典に参加したバリッシュ氏、山田氏、バガー氏に加え、日本創成会議座長の増田寛也氏、AAAの西岡喬会長、KEKの鈴木厚人機構長が参加しました。

冒頭で、座長の村山氏が「初めてリニアコライダーのことを聞いたとき『こんなこと出来るわけない』とびっくりした」と大学院生時代のエピソードを紹介し、「ここまでたどり着いたことに敬意を表します」とコメントして、ディスカッションがスタートしました。

まず、バリッシュ氏が8年間のGDEの活動を振り返り「世界からの知識と能力を集めてベストな設計を作り上げるプロセスは素晴らしい経験でした。私はこの加速器が素晴らしい物理成果を上げることを確信しています」と述べました。山田氏は数千人に及ぶ世界の科学者の取りまとめという難しい仕事について質問を受け「もちろん、多くの議論と競争がありましたが、物理という共通言語、ILCという共通の目的があるので、最終的にはまとめあげることができました」と語った。西岡氏は、これまで産業界が培ってきた大型国際プロジェクトのマネジメントの経験を紹介し、その難しさの一例として、台湾新幹線プロジェクトを挙げた。このプロジェクトは日本の技術と欧米の標準を統合するという課題を抱えていた。「国際プロジェクトで、唯一の標準を決定する事

は苦勞を伴います。しかし、最初にきちんと確固たるベースを決めることで、物事がスムーズに進むのです。今回の TDR の完成がこのベースの完成に当たると思います」と述べました。

増田氏は、2012年7月に日本創成会議が発行した提言「地域開国：グローバル都市創成」について紹介し、外国人が地域の日本人とともに快適に生活できる環境づくりが重要だと述べ「こうした国際都市創成への取組みはすでに始まっています」と解説しました。これに対してバガー氏が「研究者というものは、よく奇妙な生物だと言われるのですが、大量な研究者が来る事に地域の人が戸惑う事は無いでしょうか？」と質問。増田氏は「心配ありません。むしろ、刺激のある人々が来る事は地域活性化につながると思います」と答え、会場は笑いに包まれました。

鈴木氏は、将来の ILC 研究所のあり方について解説しました。「今後のビッグプロジェクトは、世界中でお金と人を出し合う新しい運営をする必要があります。ILC がその最初の例になれば良いと考えています」と考えを述べました。最後に、村山氏が、会場に列席していた GDE と RD の後継組織「リニアコライダー・コラボレーション」のリーダーとなる駒宮幸男氏（東京大学）と、リン・エバンス氏（欧州合同原子核研究機関）の2名を紹介しました。今後は、量子が中心となって、ILC の建設実現へ向けた活動が行われます。



(左から)バリー・バリッシュ、
ジョン・バガー、山田博士



高エネルギー加速器研究機構
横谷名誉教授



ILC 国際共同設計チームディレクター
バリー・バリッシュ



ILC 物理測定器研究組織
ディレクター 山田博士



数物連携宇宙研究機構
村山機構長



先端加速器科学技術推進
協議会 西岡会長



日本創成会議
増田座長



ILCSC 国際リニアコライダー運営
委員会委員長ジョン・バガー



高エネルギー加速器研究機構
鈴木機構長